

鈴田の風



大村市立鈴田小学校 学校だより
令和6年度第17号(R6.12.24)

文責：校長 牛嶋 理孝

2学期の教育活動終了！ 御協力ありがとうございました

厳しい残暑の中でのスタートから、早いもので季節は移ろい、本日をもって2学期の教育活動が無事終了しました。

保護者の皆様や地域の方々には、運動会をはじめとした諸行事の円滑な運営に御協力いただくとともに、本校児童への励ましや称賛をいただき誠にありがとうございました。また、生活科や総合的な学習の時間における地域学習でも、様々な面で御協力をいただいたおかげで、教育活動の充実を図ることができました。重ねてお礼申し上げます。

様々な行事や体験活動、日々の学校生活を通じて、子供たちはそれぞれに多くの知識や技能を身に付け、心身ともに成長することができました。本日、その一端を各担任から「通知表」に込めてお届けします。ぜひ、一年の締めくくりであるこのときに、各御家庭におかれましても子供たちの成長を認め、励まし、来るべき新年に向けての意欲につなげていただきますようお願いいたします。

明日から始まる冬休みは、年末年始の諸行事や風習に触れる、たいへんよい機会です。子供たちに家族の一員としての役割を与え、家庭でしか学ぶことのできない貴重な体験をさせていただければと思います。

鈴田小学校の全児童が健康で明るい冬休みを過ごし、3学期の始業式の日、元気に再会できることを願っています。

皆様、よい年をお迎えください。



人権集会 みんな仲間、みんな大切

画像1

画像2

12月5日(金)、人権集会を実施しました。

本校では、12月10日の世界人権デーにあわせて、毎年この時期に人権週間を設定しています。期間の総括となる人権集会は、特に身近な存在である友達について考え、もっと仲よくなるために一人一人ができることを誓い合う場として位置付けています。

今年も各学年からの発表、職員による「じぶんのきもち あいてのきもち」の読み語り、「手をつなごう」の全校合唱などを通して、友達との関わり方や命の大切さについて考える時間を共有しました。

人権週間における様々な取組を通して、子供たちの心の中に、「人権」＝「友達に対するよい関わり方（みんな仲間、みんな大切）」という意識が根付いたものと信じています。

人権について考える機会は、この人権週間だけではなくありません。日々の暮らしの中にあります。これまで以上に子供たちの言動や表情から心の変化を読み取り、子供の思いや願いをしっかりと受け止める指導に努めていきます。

1月の主な行事予定

- 8日(水) 3学期始業式
- 21日(火) 1年親子歯みがき教室
- 29日(水) 持久走大会 ※予備日=31日(金)

